

久米島町教育委員会児童・生徒表彰式

6名1団体を表彰

「令和2年度久米島町教育委員会 児童・生徒表彰式」が2月16日、久米島博物館で開かれました。学校や地域において、スポーツ、学業などで活躍する児童・生徒を表彰し、心豊かな児童・生徒の育成を図ることを目的に実施しており、6名、1団体が表彰されました。

(写真前列左から)

玉城大飛 (美崎スポーツクラブ)・宮城梨心 (仲里小)・上里凜華 (清水小)・小川陽翔 (大岳小)

(後列左から)

糸数逸晴 (久米西中)・吉田研誠 (球美中)・新垣希美佳 (久米島高)



たくさんのお仕事を楽しんだよ!

お仕事体験講座

仕事を体験することで児童の就業意識の向上や島内の事業所への興味関心を深めることを目的に「お仕事体験講座」を島内小学校4校で行いました。2月18日久米島小学校5.6年生がマキノコーヒーの「コーヒー焙煎士体験」、2月24日清水小学校6年生がキッチンカーの「キッチンカー販売体験」、2月25日比屋定小学校全学年が久米島商会の「グルクンかまぼこ作り」、2月26日

美崎小学校3.4年生がプライベートサロンメイプルの「ネイルアート体験」をしました。初めての体験に児童は目を輝かせ楽しんでいました。ご協力してくださった事業所の皆様ありがとうございました。

ビーチクリーンで思い出作り

仲里小学校6年生

2月24日、仲里小学校(儀間実子校長)6年生27名が卒業プロジェクト思い出作りで奥武島の海岸でビーチクリーンを行いました。総合学習を通してゴミについて学び、久米島を綺麗にしたいと自分たちで考案したものです。海岸はごみだらけで、児童たちも驚いた様子でしたが、懸命に取り組み、約1時間の清掃時間で20袋分のゴミを拾いました。今年最後の小学校生活ですが、新型コロナウイルス感染症の影響で各行事が相次いで中止になる中、みんなとの思い出作りのいい機会になったと喜びを述べました。



データ放送で地域情報発信

QABと調印式

3月5日、琉球朝日株式会社(代表取締役社長上原直樹)と久米島町が「QABデータ放送を活用した地域情報発信に関する調印式」を行いました。

今後は、QABのデータ放送を活用し、町のお知らせ、防災無線情報、新型コロナウイルス情報、バス時刻表を発信していく予定です。大田町長は「島民だけでなく島外の方が島を訪れた際にも、このデータ放送による情報発信を活用していただきたい」と述べました。